



# 「カップ・マルタンの 休暇小屋ドローイング + スケッチノート」展

—ドローイング化された  
「ル・コルビュジェ の終の棲家」—

「手は第二の脳、足は第二の心臓」と言われる。  
ものづくりは「手足づくり」、可能な限り本物の建築に接し、自分の足で歩いて、指先からアウトプットする。常に B6 判の白紙ノートを携帯し、気になった目の前のモノを、情景を、構えず素直に感じたままに手を動かす。「スケッチノート」づくりを始めて半世紀ほど、重ねると身の丈を超えるほどになった。

ハウス M では、藤原成暁さんが選んだ 16 冊を展示します。  
2011 年 2 月のカップ・マルタン訪問の時から最新の「スケッチノート」。併せて、ル・コルビュジェが設計した休暇小屋の現地実測と、ものづくり大学でのレプリカ制作を通して得た知見を纏めた「図解 世界遺産ル・コルビュジェの小屋ができるまで」に掲載したドローイング（原画）を展示。

2023.4.1 | 土 | — 4.9 | 日 |  
ハウス M 西麻布

（地下鉄日比谷線広尾駅 3 番出口より徒歩 8 分）

開館時間 11:30—17:30

※訪問・参加ご希望の方は下記までご連絡ください。

藤原成暁 (E-mail) : fujiwara@iot.ac.jp

松田直則 (phone) : 090-6171-0748

休館日：期間中の休館日はありません。

入場料：無料

会期中のイベント：午後 2 時から・3,500 円

・4.1 (土) オープニング 藤原さんのお話  
『ル・コルビュジェの終の棲家；カップ・マルタンの小屋』

・4.2 (日) トーク・セッション  
『休暇小屋の原寸大レプリカを制作する』

・4.3 (月)~4.7 (金) 対話のひと時  
『藤原さんのスケッチノートから』

・4.8 (土) 藤原さんのお話  
『歩く・見る・描く・デザインする；スケッチで脳を触発しよう』

・4.9 (日) クロージング  
『老建築家たちとの「雑談の会」；スケッチすることから見えてくる「ル・コルビュジェ」』

## Profile

長年にわたり「ものづくり大学」で教鞭をとってきた。2010年に始まった「世界を変えたモノに学ぶ / 原寸プロジェクト」で最初の課題に取り組んだのは、カップ・マルタンに建てられたル・コルビュジエの「休暇小屋」。現地調査・実測・実物大のレプリカ制作の全記録は、今年3月2日に出版されたばかりの著作「図解 世界遺産 ル・コルビュジエの小屋ができるまで」に収められている。

## - ご挨拶 -

### 休暇小屋のドローイング

この度、『図解 世界遺産 ル・コルビュジエの小屋ができるまで / カップ・マルタンの休暇小屋、現地実測図面集』（発行：株式会社エクスタレッジ）を上梓いたしました。

本書は世界遺産にも指定されているカップ・マルタンの休暇小屋を、ものづくり大学の学生とともに敢行した、フランスでの実測調査から学内での建設過程と更に完成後の空間体験で得た知見をまとめたものです。その中に掲載したドローイングの原画と現地実測時のフィールドノートを展示致します。

藤原 成暁

## 藤原 成暁 | Nariaki Fujiwara

1953年東京生まれ。  
武蔵野美術大学造形学部建築科卒業後、  
鬼頭梓建築設計事務所などを経て、  
1990年藤原成暁設計室設立。  
2006年ものづくり大学技能工芸学部  
建設学科に奉職。現在、一級建築士事  
務所を主宰し、ものづくり大学名誉教  
授、特別客員教授、評議員。



素のル・コルビュジエ



上梓した著作の表紙カバー



階段脇の書棚に収まる「スケッチノート」

## スケッチノートのすすめ

『歩く・見る・描くこと = デザインすること』

建築家・藤原成暁さんの手は止まらない。

「スケッチする」を習慣に。

身の廻りのモノに眼を向け、感じたままに手を動かす。

何でもいい。見たものを描く。

感じたように描けばいい。

ショルダーバックに、

いつも手のひらサイズのスケッチ・ノートを持ち歩く。

B6判が丁度いい。いつでも、どこでも描ける。

日常茶飯事、

何気なく見ているものに、興味深い発見がある。

ページの始めに「目次」を作って貼り付ける。

いつ・どこで・何を見たのか。

忘備録である以上に、考察のための記録。

あるいは記憶の引き出し。

スケッチには「時間」が堆積している。

描く時の「時間」と、描いた「時」の積み重ね。

## Access

